

国際プラスチック条約に関するアンケート回答

政党名：社会民主党

記入者：政策審議会 松本貴裕

Q1 よく知っている

Q2 極めて重要である

プラスチック製品のライフサイクル全体にわたって、海洋を含む環境への影響を減らし、2040年までにプラスチック汚染を根絶していく条約であり、プラスチック製品の大量生産・大量消費社会を終わらせる重要な条約です。

Q3 そう思う

日本政府は、「プラスチック条約」の「プラスチック一律規制」へ反対しています。プラスチック汚染根絶に向けて消極的な態度であり、根絶に向けた主導的な立場をとっていくことが必要だと考えます。

Q4-① 定めるべき

プラスチック削減に向けて実効性ある条約にするためにも、削減目標値を定めることは必要だと考えます。

Q4-② そうするべきである

市民の健康と安全を守るために、有害化学物質廃止に向けた規制は必要だと考えます。

Q4-③

社会的にプラスチックの使用を削減していくためにも、回避可能なプラスチックの段階的削減・使用禁止を義務付けることは必要だと考えます。